

平成29年度 長野県上田東高等学校 学校自己評価(年間評価)

評価は下記にありますが数値で実施しています。

質問内容「各評価の観点について、十分実現されていると思われますか。」

そう思う…4 少しそう思う…3 あまりそう思わない…2 そう思わない…1 自分には評価できない…0

重点目標	取り組み	評価の観点	個人評価					分掌評価		コメント
			4	3	2	1	0	評価者	評価点	
(1) 学力向上・進路希望の実現とキャリア教育の充実	① 学力向上に向けての取り組みの充実	・ 考査や家庭学習課題の内容を効果的に設定し、学習の質・量を向上させることができたか。	9	18	5		3	企画	3	それぞれの教科で日常的に取り組んでいることである。
		・ 予習・復習を基礎に、自発的な学習で知識・技能を定着させるよう促せたか。	6	15	12		2		3	自発的な学習姿勢を向上させることについては、さらなる努力が必要である。
		・ よりよいキャリア形成に向けた指導技術の向上に取り組めたか。	7	17	4		7		3	それぞれの学年をはじめ各部署で地道に取り組んでいる。
	② 進路指導の充実	・ より適切な進路選択ができる力をつけさせることができたか。	7	17	4		7	進路	3	企業見学やオープンキャンパス等への積極的な参加を促した。生徒がより主体的な進路選択の取り組みができるように、進路室の資料整理、保管の仕方を改善する必要がある。
		・ 補習授業や模擬試験を生徒のステップアップにつながられたか。	8	20	4		3		3	生徒のステップアップにつながってはいると思うが、各自の事後検討への取り組みの指導については改善も必要。
		・ 生徒の進路希望を実現できたか。	8	15	3		9		3	推薦入試をはじめ、多くの生徒の進路希望を実現させることはできた。
③ キャリア教育の充実	・ 現在の学習と将来の職業生活との関係を理解させ、学習意欲を向上させることができたか。	5	16	5		9	キャリア	3	ホームルームや授業を通して年間を通じて取り組んでいる。	
	・ 就業体験など体験的学習を一層進め、生徒自身に自己の成長や課題に気づかせることが出来たか。	4	14	4	1	12		3	参加者は限られるが、多くの生徒が就業体験に参加し、自己の職業観につなげることができた。	
(2) 生徒諸活動への支援	① 生徒会活動の充実	・ 生徒会活動をととして自主性・協調性や社会貢献の精神を育成できたか。	10	22	2	1		生徒会	3	生徒会総務で見れば良くやっている。一般生徒全体では大旨良いが、やや自主性を欠く生徒もみられる。
		② クラブ活動の充実	・ クラブ活動への加入を推進できたか。	9	14	8	2		2	3
	・ クラブ活動を通して自主性・協調性を育成できたか。	11	21	2	1		4		4	活動は良くやっている。
(3) 地域連携と開かれた学校の創造	① 外部連携の拡大	・ 同窓会・PTAとの連携は十分行われたか。	7	14	3		11	企画	3	PTA活動を通じて交流の場を深めることができた。年間の計画準備を早めに進めたい。
		・ 学校評議員会を予定通り実施し、外部連携を深められたか。	5	12	2		16		4	予定通り実施でき、意見交換ができて良かった。
		・ 上田養護学校等との交流を通じて学校間の連携が深められたか。	8	13			14		4	春も秋も良く交流できた。(JRCと生徒総務で交流の歴史を勉強して、尼崎養護学校との交流も良くできた)
	② 情報の発信と要望の受容	・ 公開授業を質量ともに充実したものにできたか。	7	12	8		8	企画	3	PTA総会の日の午前に公開授業を行った。また7月末には中学生の体験入学を行うなどの取り組みが実践できた。公開授業については、回数を増やすなどの取り組みを行っても良いと思われる。
		・ 学校からの情報の発信が積極的に出来たか。また、要望の受容はできたか。	3	13	6	2	11		3	地区PTAでは積極的な情報交換ができた。保護者アンケート等も通じ、要望の受容がある程度できた。
		・ HPの更新を積極的に行い、またアクセス数も増加したか。	2	5	7	4	17		2	HPの更新については、十分といえない。さらなる向上が必要と考える。
(4) 生徒の健全育成と安全安心な学校づくり	① きめ細かな生徒指導の実施	・ 基本的な生活習慣の確立によりマナー・ルールを守る精神を育成できたか。	7	21	5	2		生指	3	自転車の乗り方など、再三の注意にもかかわらず、地域からの苦情がある。来年に向けて、さらに、注意喚起を促したい。
		・ いじめや暴力を許さない指導を有効に実施することができたか。	10	16	5	3	1		4	4
	② 生徒支援生徒相談体制の拡充	・ 不登校や発達障害など問題を抱える生徒への支援・相談を有効に実施できたか。	10	17	4		4	保健	4	カウンセラーとも適切に連絡を取りながら支援につなげることができた。また、必要時は支援会議も行い、協力を得ながら、支援態勢を整えた。
		・ 生徒の健康管理、安全管理を適切に行うことができたか。	11	19	2	1	2		4	4
	③ 危機管理の徹底	・ 防災対策は災害に対して有効に機能できるものであったか。	8	13	4		10	教務事務	3	例年通りの計画のもと、実施した。
		・ 学校危機に現実に対応できるマニュアルの点検と整備ができたか。	5	12	4		14		3	3
・ 工事中の安全確保を含め、学校施設の安全管理を徹底できたか。		10	11	4	1	9	4		4	第3棟屋根改修工事や放送設備改修工事等を実施したが、十分に安全を確保できた。